**イッシー目撃情報と出来事**

|  |  |
| --- | --- |
| 1978年9月3日 | 池田湖に近い池崎地区の小学5年生20人の集団が、湖岸から約300メートルのところに不思議な水音を聞く　① |
| 1978年10月1日 | 指宿市観光協会がイッシ―対策委員会を設置する |
| 1978年11月1日 | カメラを備えた無人観測所が設置される  |
| 1978年12月16日 | 穏やかだった池田湖の中心部が突然動き、白い生き物が水面に現れる　② |
| 1990年8月25日 | はっきりと見える2つのこぶを持つ生物が、湖岸から約200～300メートル離れたところを、開聞岳に向かって泳いでいるのが目撃される。水面に出た2つのこぶは、およそ4～5メートル離れていた。目撃されたのは2頭以上のイルカの群れだった可能性がある　③ |
| 1990年12月21日 | 湖で生物が目撃される。当初は岸辺の鳥かと思われたが、その生物が飛び去らなかったので、巨大ウナギかイッシーではないかと考えられた ④ |
| 1991年2月2日 | イッシ―タスクフォースが結成される |
| 1991年2月7日 | やすらぎ公園から生物が目撃される。その生物の右側は頭に見え、左側は尾に見える　⑤ |
| 1991年2月9日 | やすらぎ公園の下の湖岸から数百メートルのところを泳いでいる生き物が目撃される。その生物は水面に姿を現したり潜ったりしながら北から南に移動した ⑥ |
| 1991年2月16日 | 池田湖の中心で、体長5メートルの生物が目撃される　⑦ |
| 1991年2月27日 | イッシ―対策委員会が設置される  |
| 1991年3月16日 | 「イッシーくんと遊ぼう」というイベントが3月16日から5月12日まで開催される。このイベントでは、市長、市議会議長、観光協会会長、温泉旅館事業組合長がイッシーの様子を想像して絵を描いた。26,432人の来場者が集まり、イッシーの絵2,670枚が提出された。 同年6月、イッシーの記章が決定された |
| 1991年3月16日 | イッシー特別探検隊40畳の畳と40の金属製の樽を使ったいかだが作られ、それを使って9日間連続で湖岸が監視された |
| 1991年3月19日 | 突然黒い生物が岸から200メートルの水上に現れる。それは水面に浮上したり潜ったりして遊ぶイルカの親子に似ていた　⑧ |
| 1991年6月1日 | 「緊急レポート：謎のイッシーを見た！！」が勁文社という出版社から日本語で出版される |

これは目撃例のほんの一部であり、このリストは網羅的なものではありません。